

機械器具（18）血圧検査又は脈波検査用器具
アネロイド式血圧計 16156000 一般医療機器

IMG マノメーター E302WB

【警告】

1. 胸部に重度の血行障害のある患者は必ず医師と相談のうえ使用すること。[体調不良をおこす恐れがある]
2. 糖尿病、肝臓病、動脈硬化、高血圧症などで末梢循環障害のある患者は血圧値に差がでることがある。測定部位の血流が少ない患者や不整脈の頻度の高い患者は測定できないことがある。その判断は医師によります。

【禁忌・禁止】

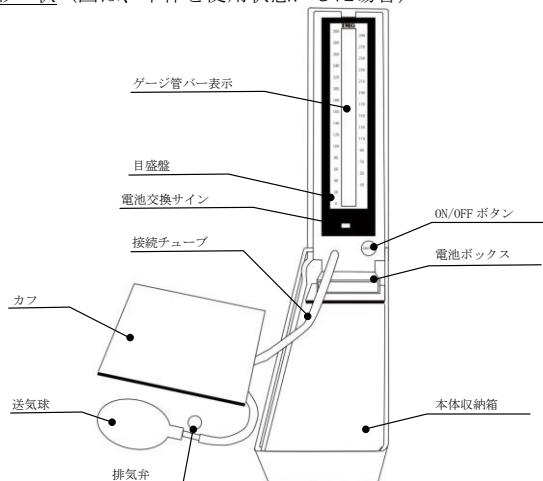
1. 下記の医用電子機器との併用は、誤動作を招く恐れがありますので使用しないこと。
 - ・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電子機器
 - ・心電計などの装着形の医用電気機器
2. 傷などの未治癒の腕にカフを巻かないこと。
3. 治療中の点滴静脈注射や輸血を行っている場合はカフを巻かないこと。[ケガや事故をおこす恐れがある]
4. 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないでください。[引火の可能性がある]
5. 病院内の高圧酸素室や酸素 TENT 内など高濃度酸素下では使用しないでください。[発火の可能性がある]

【形状・構造及び原理等】

本品は、腕周に巻きつける加圧可能なカフ、カフ内の空気圧を調節する排気弁、ゲージ管バー表示のアネロイド式圧力計から構成されている。聴診法で動脈血圧の間接的（非観血的）測定に用いる装置である。

1. 形状及び寸法

形状（図は、本体を使用状態にした場合）



寸法等

	本体：縦×横×高さ	カフ：縦×横	重量
収納時	339.8×96×65mm	カフ・空気袋一体型付 ：約 13×51cm	カフ・空気袋一体型付 ：約 816 g
使用時	339.8×96×338.5mm	カフ・空気袋別型付 ：約 14×51cm	カフ・空気袋別型付 ：約 846 g

2. 電氣的定格

機器の分類

電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器

電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B F 形装着部

定格電圧

内部電源 DC 4.5 V（単 3 電池 × 3 本）

消費電力：最大 0.2 W（バックライト点灯時）

EMC 適合 本品は EMC 規格 IEC60601-1-2:2007 に適合しています。

3. 特性・性能または機能 *

- 1) 測定範囲：20～300mmHg
- 2) 出荷時測定精度：±2mmHg 以内

【使用目的又は効果】

腕周に巻きつける加圧可能なカフ、カフ内の空気圧を調節する弁、アネロイド式圧力計から構成される機器をいう。

【使用方法等】

1. カフを患者の左上腕ひじ関節の 2～3 cm 上に巻きます。
2. カフから出る 2 本のチューブの中心（矢印の位置）が上腕血管の真上になるようにしてください。
3. この状態で患者をテーブルの前に座らせ、下腕を少し曲げてテーブル上に置かせるか、また患者をベッドに寝かせるようにしてください。
4. カフ内の空気を排気弁により完全に抜いてから、ON/OFF ボタンを押し、動作状態にします。
5. ゼロ設定が行われ、測定可能な状態となります（ゼロ設定中はバーが点滅し、ゼロ設定が終了するとバーが点灯します）。
6. 排気弁を閉じます。
7. 送気球を使ってカフを加圧し、聴診器を使って測定を行います。
8. 測定後は排気弁を完全に開放し、カフ内の空気を全部抜きます。
9. ON/OFF ボタンを押し、電源を切ります。
※ボタンを押して電源を切らなくても無圧状態が約 5 分続くと電源が切れます。
10. バックライト機能
バー表示は、20mmHg 以上加圧すると自動的に点灯します。
11. 電池交換サイン
電池交換サインが点灯したら電池を交換してください。

【使用上の注意】

1. 使用環境および使用条件
 - ・透析や点滴などの血管と流体接続するシステムを使用する環境で血圧計を使用する場合、誤ってシステムと血圧計の空気圧系を接続しないようご注意ください。血管内に空気が送られて事故の原因となります。
 - ・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器、心電計などの装着形の医用電子機器との併用は誤動作を招く恐れがありますので使用しないでください。
 - ・電波を発生する機器（携帯電話／PHS など）の近くでは使用しないでください（誤動作の原因となります）。
2. 使用前の注意事項
 - ・使用前に、上腕の周囲を測り、適用範囲内であることをご確認ください。適用範囲外で使用すると、誤差の原因となります。

- ・付属品（カフを含む）は指定されたものをお使いください。指定外のものを用いると、誤差の原因となります。
3. 使用中の注意事項
- ・カフは、常に心臓の高さに保ってください。高さのズレは誤差の原因となります。
 - ・カフは、測定部位に正しく装着してください。誤った装着は誤差の原因となります。
 - ・加圧し過ぎると、うっ血等の原因となります。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
温度: 0～45℃、湿度: 80%以下の場所で保管してください。
2. 保管方法に係る注意
 - ・チューブが折れたままの状態、保管しないでください。
 - ・ゲージ管・バー表示に金属などの堅い部材が当たらないようにしてください。傷や破損の原因となります。

【保守・点検に係る事項】

1. 電池ボックスの下方手前のツメを下に押し、電池ボックスを引出して、電池を3本入れる。
2. 本品を拭くときは、柔らかい布を湿らせずに使ってください。汚れが落ちにくい時は、中性洗剤を薄めて湿らせた布で拭いてください。化学薬品やアルコールが含まれている洗浄液は絶対に使用しないこと。
3. カフ・空気袋別型の洗濯
 - ・カフから空気袋を抜き出す。
 - ・洗濯する前にカフのマジックテープ同士合わせて止めるようにし、折り畳んで洗濯してから、自然乾燥する。
 - ・手洗いを推奨します。乾燥機使用不可。
 - ・カフ・空気袋一体型は洗濯不可。
4. 機器の改造はしないでください。重大な事故や誤差の原因となります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: eastsidemed 株式会社 **
東京都文京区本郷3-24-5
TEL 03-3815-0056 FAX 03-3818-4085